

♪ ど～この だぁ～れかは 知～らないけれど ♪ 感謝！

♪ ど～この だぁ～れかは 知～らないけれど ♪、携帯から次のようなメールをいただいた。

「誤字について。読者の一人であります。今回『重い障害のある子どもへの援助のために』を読ませていただいて大変参考になりました。実体験のお話等大変わかりやすかったです。

本書の、121 ページの下から三行のところの『開』が『聞』ではないでしょうか？ちなみに、私の本は、第二十刷発行改訂版です。

これからも、この本を参考にいろいろ勉強させていただきます。」

「雑学」HP 上のメールアイコンからの送信なので、HP も覗いてくださった方と思われる。

それにしても、どこの誰かは皆目想像がつかない。

我々は、本の感想を著者に送付したり、まして、誤字まで連絡することというのはそうそうありませんよね。

それだけに、見も知らない方が拙書をこうして丁寧にお読みくださり、しかも誤字までご指摘くださったことが、何とも感謝、感激！

また、こうした読者が一人でもいてくれる限り、増刷は続けたいとも思う。

拙書のゲラ刷りを見るのも嫌になるぐらい自分では何度も何度も校正したつもりだったが、やはり誤字（誤植）がまだあったよう。恐らく、まだあるかも……。他にお気づきの方は、ご指摘くださいね。

早速、この方には「誤字のご指摘、ありがとうございます。既に21版印刷済みですので、次回22版増刷の折に校正・修正させていただきます。」と返信した。

どうも自分はそそっかしく、また、思いこみが強いところもあり、HP 上の記事も何度も読み返してから掲載したつもりでも、知人、友人から誤字、脱字を指摘されることもしばしば。

でも、こうした指摘を受ける度に、「あ～、自分はみんなに輔けられ、支えられているんだなあ～」とつくづく実感。 感謝！

(2005年11月29日 記)